KONICA MINOLTA

適用機種：販売モデルは地域により異なります。

カラー機（CL）	C14010シリーズ、C5080シリーズ、C8100シリーズ
モノクロ機（BW）	---

オペレーションクイックガイド - No. 05 -

画像位置調整

Ver. 01.02

目次

1 画像位置調整とは

2 表裏調整

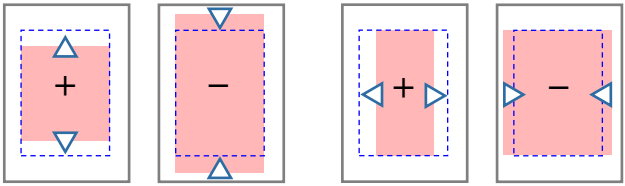
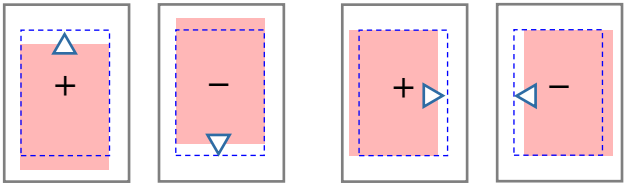
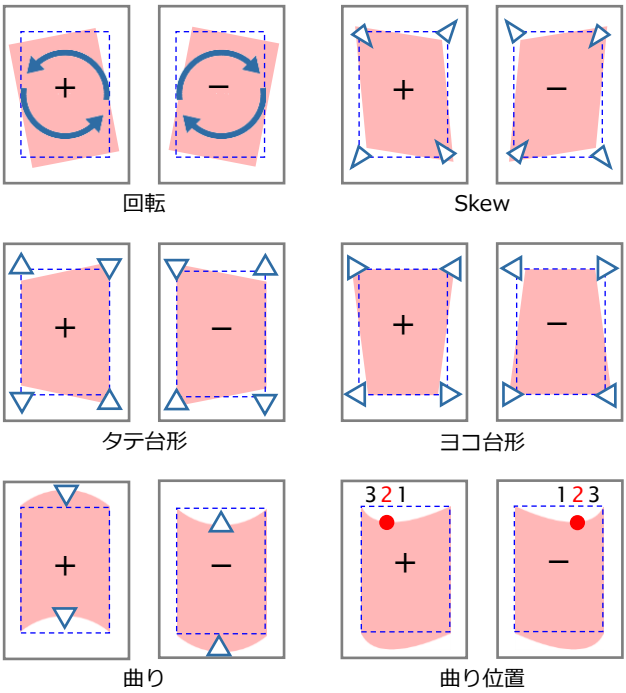
3 コントローラーでのレイアウト調整



1 画像位置調整とは

1-1. 画像位置調整とは

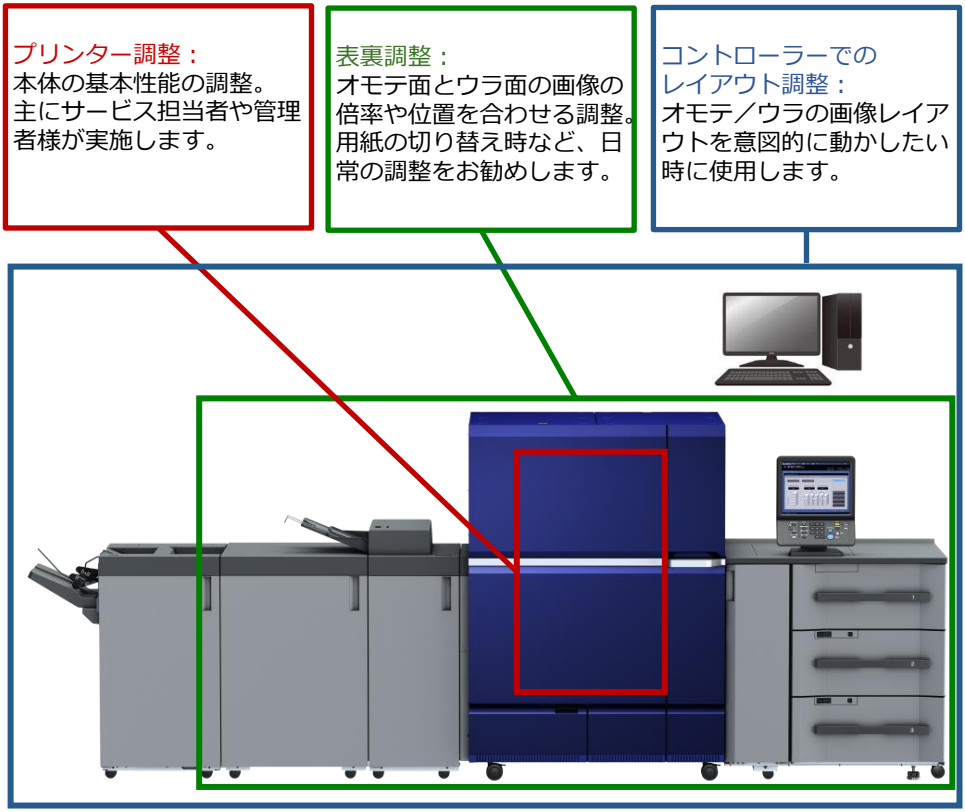
画像のタテヨコ倍率、上下/左右のシフト量と歪み量を調整し、用紙の正しい位置に印刷するための調整です。

[倍率]	 タテ倍　ヨコ倍
[イメージシフト]	 上下　左右
[歪み]	 回転　Skew タテ台形　ヨコ台形 曲り　曲り位置

1 画像位置調整とは

1-2. 本機における画像位置調整について

本機には、以下の３つの「画像位置調整」があります。

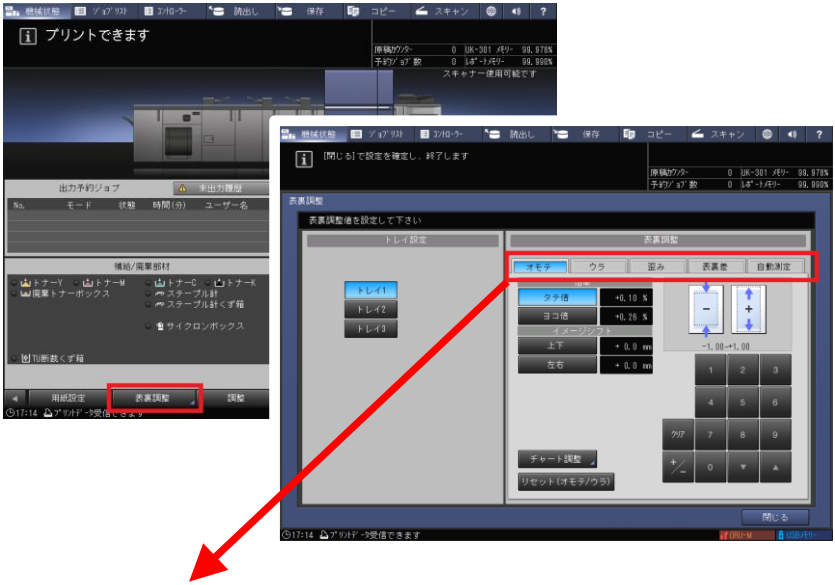


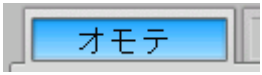
本冊では、「表裏調整」、「コントローラーでのレイアウト調整」について説明します。

2 表裏調整

2-1. 表裏調整とは

両面印刷でオモテ面とウラ面の印刷位置を合わせるために、表裏の位置ズレを補正する作業を「表裏調整」と呼びます。





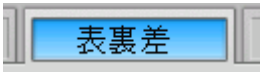
オモテ面のタテヨコ倍率と上下/左右の位置を調整します。



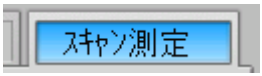
ウラ面のタテヨコ倍率と上下/左右の位置を調整します。



オモテ面、ウラ面の画像の歪みを調整します。



オモテ面とウラ面のズレ量を測定して入力することで、自動的に画像位置を調整します。



スキャナーを用いた表裏調整です。本機から出力した専用チャートをスキャンすることで、自動的に画像位置を調整します。



IQ-601を用いた表裏調整です。
ジョブを印刷中でも自動的に調整ができます。

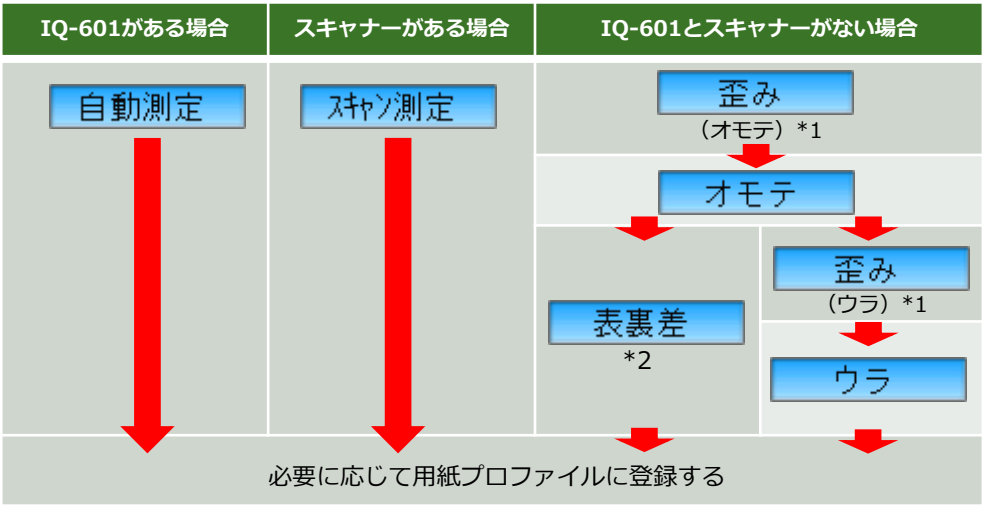
2 表裏調整

- ［スキャン測定］は、本体にスキャナーを標準搭載しているか、PF-713を接続している場合に使用できます。
- IQ-601が接続されているときは、［自動測定］タブが優先して表示されます。
- スキャナーとIQ-601を併設されているときは、［自動測定］と［スキャン測定］タブのいずれか一方を選択して表示できます。

2-2. 表裏調整を実施するタイミング

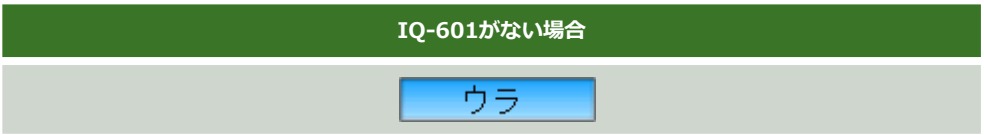
表裏調整を実施して頂きたいタイミングがあります。

・新しい銘柄、坪量、サイズの用紙を使用するとき
・トレイの用紙（銘柄、坪量、サイズ）を変更したとき



1:目視で確認できるレベルの歪みがある場合は[オモテ]［ウラ］の前に［歪み］を実施してください。
2:倍率とイメージシフトだけの調整でよい場合は、測定ポイントが少ない[表裏差]が便利です。

・ジョブごと（使用するトレイと用紙は変更なし）
　ジョブを切替えた際に表裏位置が気になるときは、ウラ面だけ微調整する

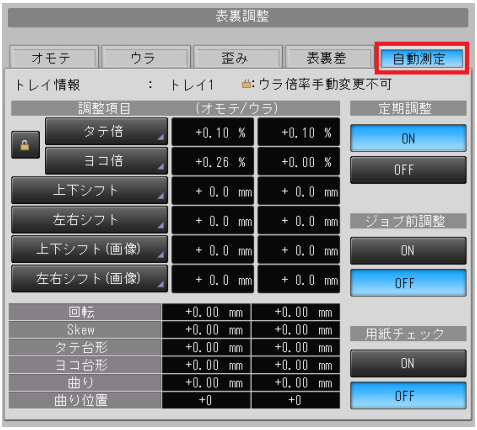


2 表裏調整

2-3. 表裏調整項目の紹介

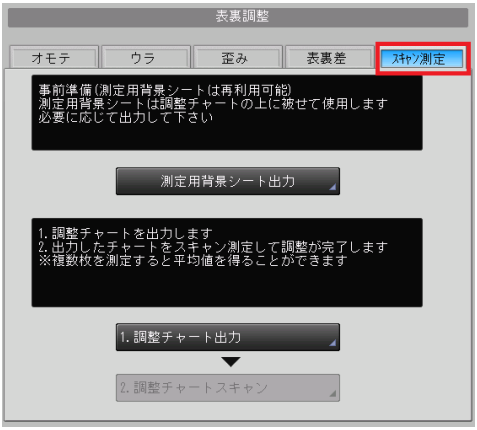
2-3-1. ［自動測定］

- IQ-601を用いた表裏調整です。
- ［自動測定］調整について詳しくは「オペレーションクイックガイド No. 07」をご覧ください。



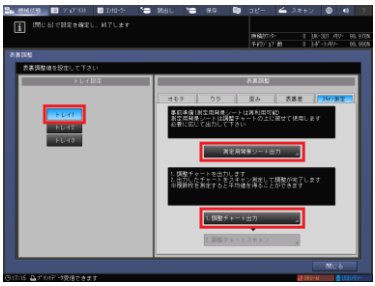
2-3-2. ［スキャン測定］

- 両面印刷したチャートのトンボの位置を、オモテ面、ウラ面ともスキャナーで読取ります。正しい位置になるよう自動的に調整されます。
- ［ウラ］で微調整できます。

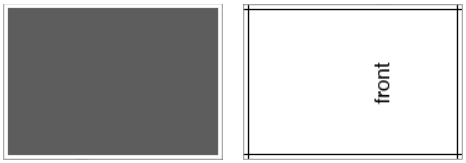


［スキャン測定］の手順を紹介します。

1. 測定用背景シートおよび調整チャートを出力します（A3 or 11″x17″）。



測定用背景シート　　調整チャート

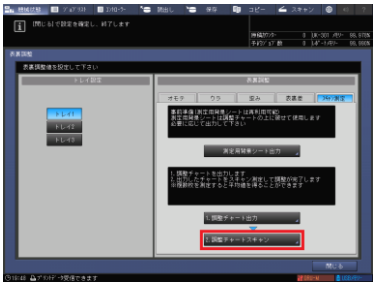


測定用背景シートは再利用可能です。毎回出力する必要はありません。
調整チャートを複数枚出力、測定して平均値を算出することで調整精度をあげることができます。

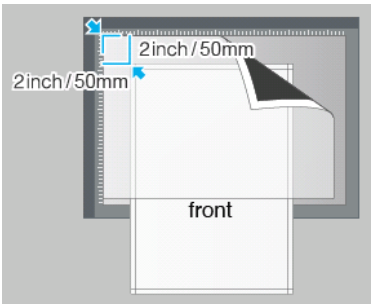
No.05-010［スキャン測定］調整

2-3. 表裏調整項目の紹介（つづき）

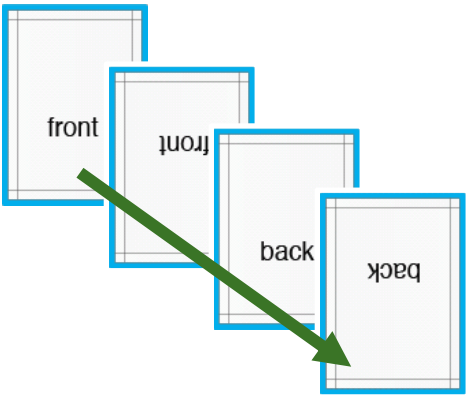
2. ［調整チャートスキャン］を押します。



3. 調整チャートと背景チャートを図のように原稿台ガラスの上にセットして［スタート］を押します。

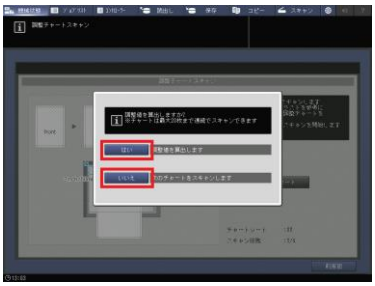


4. 調整チャートのオモテ、ウラを図のように向きを変えて1枚につき4回スキャンします。





5. 調整値を算出するときは［はい］、複数枚出力した次のチャートをスキャンするときは［いいえ］を押します。最大20枚まで連続でスキャンできます。



2 表裏調整

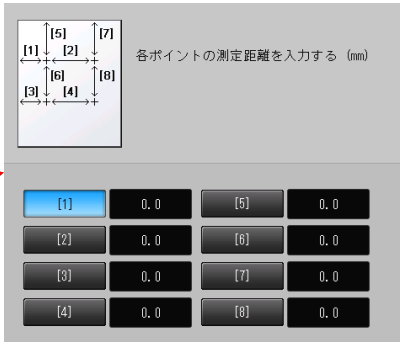
2-3. 表裏調整項目の紹介（つづき）

2-3-3. ［オモテ］

- オモテ面の画像の倍率とイメージシフトを調整します。
- ［チャート調整］*1での調整を動画で説明します。



No.05-020
［オモテ］調整

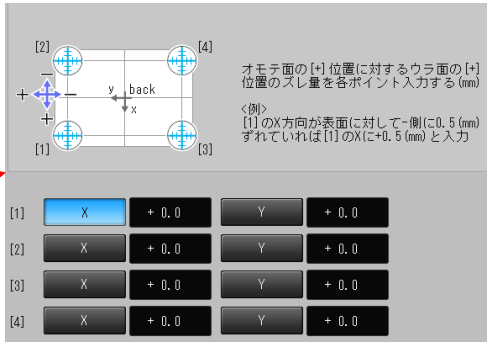


2-3-4. ［ウラ］

- ウラ面の画像の倍率とイメージシフトを調整します。
- ［チャート調整］*1での調整を動画で説明します。
  ［ウラ］の［チャート調整]は歪みも同時に調整されます。



No.05-030
［ウラ］調整



*1:［チャート調整］とは

倍率、イメージシフト、歪みが、印刷したチャートの測定値を入力するだけで調整できます。
チャート測定用に30cmの物差しをご用意ください。
チャートを2枚印刷し、2枚目を測定してください。

2 表裏調整

2-3. 表裏調整項目の紹介（つづき）

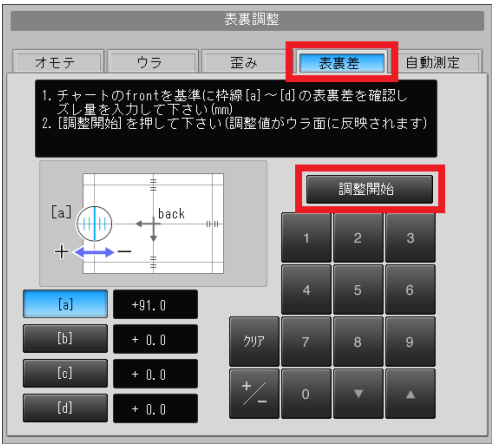
2-3-5. ［歪み］

- オモテ面とウラ面の画像の回転や歪みを補正します。
- ［チャート調整］は［ウラ］の［チャート調整]と同じです。



2-3-6. ［表裏差］

- 出力したチャートのオモテ面とウラ面の基準線のズレ量を入力することで、ウラ面の倍率とイメージシフトを自動的に調整します。
- 測定ポイントが少ないため調整が容易です。
- ［オモテ］調整後に実施してください。

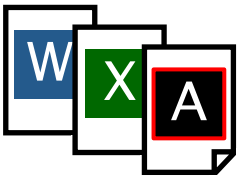


3 コントローラーでのレイアウト調整

3-1. KM製コントローラーの場合

プリンタードライバーやAccurioPro Print Manager（APPM）を用いて、画像位置を調整できます。

3-1-1. プリンタードライバー（PS Plug-inの場合）



［レイアウト］タブ



［画像位置］タブ



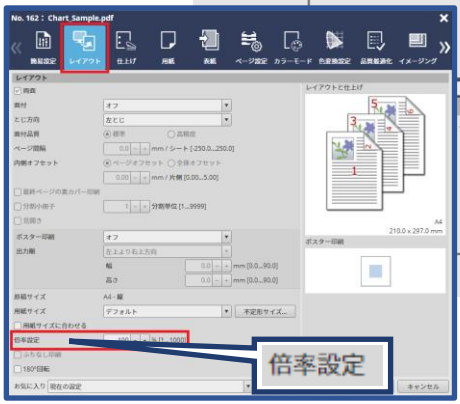
3-1-2. AccurioPro Print Manager（APPM）

PCから操作します。

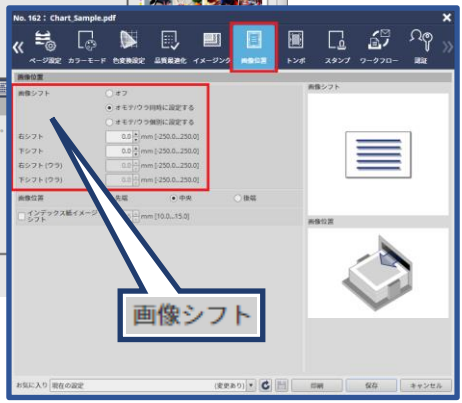
"http://<IP address of image controller>/printmanager.html"

本機の操作パネルからも操作できます。詳しくは「オペレーションクイックガイド No. 03A」をご覧ください。

［レイアウト］タブ



［画像位置］タブ

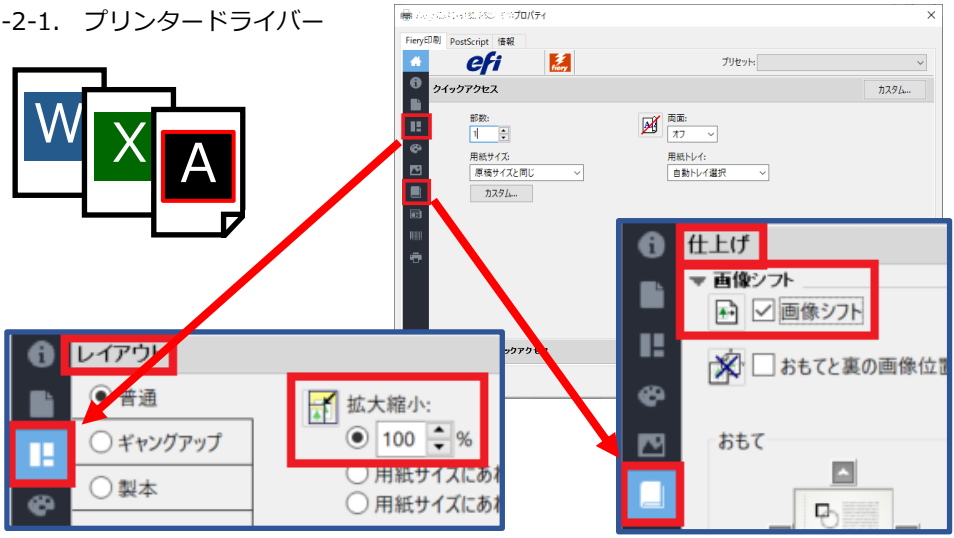


3 コントローラーでのレイアウト調整

3-2. Fiery コントローラー

プリンタードライバーやFiery Command WorkStation（CWS）を用いて、画像位置を調整できます。

3-2-1. プリンタードライバー



3-2-2. Fiery Command WorkStation（CWS）

PCから操作します。
詳しくは「オペレーションクイックガイド No. 03B」をご覧ください。



MEMO

© 2025 KONICA MINOLTA, INC.